

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

1. 学校教育の充実

教育研究所費

事業費・・・425千円

担当課・・・教育総務課

県内各教育研究所と密接に連携を図りながら、教職員の研修を助成し、教育現場に直結する問題の研究・解明と資料の作成・提供・活用に努め、本市教育の振興に寄与するための事業です。研究部員は、玉名市の各小・中学校の教職員概ね87名から構成し常に実践の上に立った研究を行い、教育に対する社会の要請をとらえながら、問題意識を高めて、よりよい教育現場の実践者になるための研究を行います。

特色ある学校づくり事業

事業費・・・1,800千円

担当課・・・教育総務課

玉名市内の児童生徒の学力向上及び健全な心身の育成を図るため、学校及び地域の実態に即して実践的に研究を推進し、その成果を発表することなどにより、市内の教育振興に資するため補助金を交付しています。

適応指導教室指導員活用事業

事業費・・・3,009千円

担当課・・・教育総務課

中学生によるいじめや不登校、問題行動は、学校や家庭だけでなく深刻な社会問題となっています。これらは、子どもたちの人格形成上はもちろん、命にもかかわる深刻な問題であり、緊急かつ適切な対応が求められています。

いじめ・不登校等の解決のためには、生徒同士や生徒と教師との信頼関係の確立が大切であるとともに、学校で子どもたちが楽しく伸び伸びと生活し、学習に落ち着いて取り組めるようにすることが重要です。

そのために、生徒が悩みを気軽に話せ、ストレスを和らげ、心にゆとりを持って学校生活を送れるよう、諸活動の支援を行う第三者的な存在として「適応指導教室指導員」を各中学校に配置し、相談及び集団活動に参加できるように自立を促し学校生活への復帰を支援します。

学校図書 of 充実

事業費・・・32,917千円

担当課・・・教育総務課

児童生徒に豊かな心を育み、確かな学力を身に付け、よりよい人格を育ていく上で、学校図書室の果たす役割は大変大きいものです。

このため、玉名市においては、各小・中学校の図書を増やし、学校図書室の充実を図るため、図書室補助員を配置します。



図書室補助員18名配置

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

教諭補助員の配置事業

事業費・・・26,274千円

担当課・・・教育総務課

支援が必要と思われる児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組みを支援するという視点に立ち、児童生徒の一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うため、特別支援教育支援員を配置します。

特別支援教育支援員 16名配置

放課後子ども教室推進事業

事業費・・・961千円

担当課・・・社会教育課

地域の方々の参画を得て、すべての子どもに放課後の安全で安心な活動拠点(居場所)を確保し、様々な体験活動や学習活動を行います。



放課後の体験活動の様相

小学校施設整備事業

事業費・・・528,286千円

担当課・・・教育総務課



建替え予定の玉名町小学校体育館・プール

学校施設は、子どもたちの生活の場であるとともに、地域住民の緊急避難場所としての役割を担っており、老朽化した校舎などの建替えや改修工事を行っています。

今年度の主な事業としては、実施設計が完成した玉名町小学校の体育館とプールの建設工事を実施します。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

2. 社会教育の充実

生涯学習基盤の整備

担当課・・・社会教育課

事業費・・・52,798千円

現代社会においては急激な情報化や国際化、高度な技術革新など環境の変化に対応し、人間性豊かな生活をおくるための新たな学習活動が必要となってきています。

このような中で、生涯にわたりゆとりと生きがいを持って豊かで充実した生活をおくり、自分の個性や能力を伸ばすことができるよう、様々な学習活動との出会いを提供し、市民一人ひとりの生涯学習に対する意欲を高め、生涯学習への参加を促進することを目的に生涯学習フェスティバルや各種公民館講座を開催します。

生涯学習フェスティバル、公民館講座経費・・・2,970千円

公民館運営費・・・49,828千円



生涯学習フェスティバルでの作品展示

図書館運営事業

担当課・・・社会教育課

事業費・・・77,224千円



玉名市民図書館の様子

「市民と共に学び育てる図書館」を基本に、人格形成の基礎作りをはじめ市民の方が図書館に楽しく来ていただくよう努めています。蔵書の充実を図るとともに、システム等の導入による効率的な運営、市民へのサービス向上に努めています。

またシステムの統合により、玉名市民図書館、岱明図書館、横島図書館のどの館も共通して利用ができます。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

子ども議会の開催

担当課・・・社会教育課

事業費・・・100千円

21世紀を担う子どもたちに、より豊かな生活体験、活動体験をさせることにより、主体的な判断力、行動力を養わせるとともに、市政への興味・関心を高めてもらい、自らが体験することで民主主義や主権在民の理念について学び、今後の学校生活にも役立てるために開催します。

人権教育・啓発事業

担当課・・・社会教育課

事業費・・・3,261千円

様々な人権問題の解決を自らの課題としてとらえられるよう、一人ひとりがお互いを尊重し、命の大切さを実感できる「命の教育」を推進します。

また、同和問題を人権問題の基本としてとらえ、あらゆる人権問題解決のために、人権教育の一層の推進を図るため、講演会や研修会などを開催します。



人権教育研究大会の様様

人材育成基金助成金

担当課・・・企画課

事業費・・・1,500千円



第43回全国学童保育研究集会への参加に対して助成

玉名市の未来に向け、社会の各分野において指導者となる人材を育成する事業に対し、助成を行います。

1. 助成対象事業

- ①教育、文化、環境、福祉、産業等の振興に資する人材育成のための研修会等への参加又は研修会等の開催
- ②地域づくりの推進に資する人材育成のための研修会等への参加又は研修会等の開催

2. 助成対象者

- ①玉名市に在住又は勤務する個人
- ②玉名市に事務所等を有する団体又はグループ

3. 助成額

助成額は、対象経費の総額から国・県等の助成額を除いた額の2分の1以内で、限度額は次のとおりです。

- ①海外研修 1人につき10万円、1団体等につき50万円
- ②国内研修 1人につき5万円、1団体等につき25万円
- ③研修会等の開催 1件当たり20万円

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

3. 社会体育の充実

社会体育施設の充実

事業費・・・79,841千円

担当課・・・スポーツ振興課

【主な事業】

体育施設の管理(79,841千円)

スポーツを通じて、心身ともに健康なからだを保持することは市民共通の願いであり、健康づくりや体力づくりに励む市民を育てることは社会体育の大切な役割であります。玉名市においても市民が自ら運動に親しみ、スポーツを愛し、健康で活力ある生活を営む環境づくりを進めています。また、社会体育施設の充実を図るため、体育館やグラウンド等の管理体制の整備と施設の修繕、改修を行っていきます。



桃田総合体育館内のトレーニングジム



スライダーがきれいになった市民プール

生涯スポーツの推進

事業費・・・23,045千円

担当課・・・スポーツ振興課

【事業の内容】

・スポーツ大会補助金

玉名市では金栗杯玉名ハーフマラソン(日本陸連公認コース)や市民マラソンとしては県内一の人気を誇る横島いちごマラソン、天水みかんと草枕の里スポーツまつりほか地域の街興しも兼ねたスポーツイベントが数多くあります。玉名市民はもとより広域の皆様にも参加頂き、思い出に残るようなイベントを行います。

・市民スポーツの振興

生涯スポーツを推進するため各種目のスポーツ大会やイベントを開催します。



金栗杯玉名ハーフマラソン



市民スポーツ大会

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

社会体育の組織の強化と指導者の育成
事業費・・・11,319千円

担当課・・・スポーツ振興課

【事業の内容】

- ・社会体育の組織強化と指導者育成
体育協会(各種目)と連携を深め、選手育成やスポーツ指導者の資質向上を図ります。また、各校区の体育指導委員とともに、多くの住民が参加しやすいスポーツ行事の企画立案や地域に根ざしたスポーツ及びファミリースポーツの普及振興を図ります。
- ・県民体育祭への選手派遣
熊本県民体育祭八代大会が平成21年9月19～20日(土、日)に八代郡市各会場にて開催されます。玉名市は一昨年、昨年と2年連続で総合3位に輝いておりますが、更なる飛躍を目指して選手の育成に努めます。



岱明支館対抗体育祭

4. 文化・芸術の振興

歴史・文化施設の充実

事業費・・・39,422千円

担当課・・・文化課

玉名市には多くの優れた文化財が残されています。このすばらしい文化財を、史跡の保存整備や公開など保護と活用に努めています。

【主な事業】

- ・玉名市歴史博物館ころろピア(22,862千円)
博物館の利用促進のため、常設展示などリニューアルを検討し利用の強化を図ります。また、様々な企画展、催し物、体験学習を開催し教育普及の拠点として利活用を図ります。
- ・指定文化財管理委託(1,241千円)
国、県及び市指定文化財の維持管理を行います。
- ・指定文化財標柱・説明板設置業務委託(2,094千円)
合併後、指定文化財の見直しを行った標柱・説明板の設置を行います。



市指定文化財標柱・解説板の設置



歴史博物館ころろピア・企画展

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

市民文化活動の振興

事業費・・・3,004千円

担当課・・・文化課

市民一人ひとりの自主性と創造性を尊重し、市民の文化意識の向上を図るとともに文化団体などへの支援を行い、文化芸術に対する理解と愛着心をはぐくみます。

【主な事業】

市民文化祭の開催 事業費 1,514千円



市民文化祭舞台発表

無形文化財、伝統芸能の支援

事業費・・・940千円

担当課・・・文化課



梅林天満宮流鎧馬

地域に残る優れた伝統芸能を後世に継承するため、保存団体とともに積極的に後継者育成に取り組むとともに、歴史や文化を学ぶ教育の素材とするほか、神楽、梅林流鎧馬、築山花棒踊り等の文化財や伝統芸能文化の保存のための補助を行います。

5. 国際交流の推進

外国青年招致事業（ALT）

事業費・・・30,799千円

担当課・・・教育総務課

市民が国際化社会に対応できるよう、語学力の向上、国際感覚の習得、国際理解を深めていくために、外国青年（Assistant Language Teacher）を招致し、各種事業で活用します。



外国人講師による授業風景

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

国際交流活動の推進

事業費・・・1,784千円

担当課・・・企画課



玉名国際交流協会交流会の様子

地域に密着した国際交流を推進し、個性と活力にあふれたまちづくりに寄与し、国際性豊かな人間形成を目的として設立されている玉名国際交流協会が行う①国際交流に関する調査研究、②留学生及び在日外国人の方々との文化交流、③各種国際交流活動に対する支援協力、④その他国際交流に関する事項に対し補助します。

本市と姉妹都市を締結しているアメリカ合衆国・クラリダ市や、友好都市を締結している中国・瓦房店市との相互交流を図り、親善の輪を広げています。



友好都市である瓦房店市内の様子

国際交流奨励費補助

事業費・・・1,000千円

担当課・・・企画課



睦合小学校 オーストラリア・アテレート市派遣

玉名市に在住する者で、国際交流の促進のために国際交流に関する事業又は活用を行うものに対し、1人当たり2万円(ただし1団体は25人を限度)を補助します。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

グレン・ミラー記念館建設寄付金

担当課・・・企画課

事業費・・・1,000千円

グレン・ミラーの生誕地であるアメリカ・クラリ
ンダ市との交流は、グレン・ミラーの音楽を通
した民間交流により始まり、1996年には姉妹都市
を締結し、現在も市民間の相互交流が行われて
います。

本市は「グレン・ミラー」の名称使用を日本で
唯一許された市であり、グレン・ミラーの音楽は
未永く続く両市の交流にとっても不可欠なもので
す。この度、クラリ
ンダ市に、グレン・ミラーの業
績を讃える「グレン・ミラー記念館」が建設される
運びとなり、本市においても、クラリ
ンダ市及び
グレン・ミラー生誕地協会が推進する当記念館
建設を支援します。



グレン・ミラー記念館建設予定図

6. 「音楽の都 玉名」づくり

グレンミラー音楽祭

担当課・・・企画課

事業費・・・1,500千円

本市はグレン・ミラーの生誕地アメリカ・クラリ
ンダ市と 1996年に姉妹都市を締結し、友好親善に努
めていますが、その契機となったのが、グレン・ミラーの音楽を通しての民間交流です。

この音楽祭は、日本で唯一「グレン・ミラー」の名称使用を許された音楽祭です。

こうしたことから、全国から注目される特色のあるまちづくりを図るため、「音楽の都 玉名」づくりの
推進として位置付け、全国にアピールし、魅力あるまちづくりを進めています。

アメリカから遠く離れた玉名の地で、ジャズを心から愛する人々の手で奏でられる素晴らしいサウン
ドが甦り、グレン・ミラーの音楽を通して、音楽を愛する人達との交流を深めます。



玉名市民会館で開催されたグレンミラー音楽祭

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

第3回玉名市民音楽祭

事業費・・・1、981千円

担当課・・・政策推進課

第3回目となる玉名市民音楽祭は「広がり」をテーマに、日時、内容を変え、岱明、横島、天水の3会場での開催を計画しています。

音楽のジャンルについても、ロックバンド系、弦、管楽器系など、各会場の状況、雰囲気に合わせて構成を予定しています。

「音楽」による、癒し、高揚感、また連帯感が、玉名市をもっと楽しい、住み心地の良い場所にし、また、音楽のあふれる都として、内外に認知され、多くの人が集う場所となっていくことを期待しています。



音楽の都たまなイメージキャラクター

NHKラジオ公開放送

事業費・・・518千円

担当課・・・政策推進課

ふるさと自慢
うた自慢



ゲスト出演予定の石原詢子さん（左）と新沼謙治さん

全国放送のラジオ番組を通じて、玉名市の魅力である「音楽の都 玉名」を発信することを目的に実施します。

「ふるさと自慢うた自慢」は、地元の紹介と共に地元出演者が自慢の歌声を披露します。また、「ふるさと自慢コンサート」は、ゲストのうたをお楽しみいただくとともに、地元出演者にスポットをあてるふるさとの星コーナーがあります。

5月22日に玉名市民会館で収録予定であり、放送予定は、①ふるさと自慢うた自慢（月11日土曜日 午後9時5分から同55分まで）、②ふるさと自慢コンサート（7月18日土曜日 午後9時5分から同44分まで）の2回、NHKラジオ第1で全国放送されます。